

巻 頭 言

沖縄県中学校英語研究会ホームページ開設から二年目を迎えました。多くの皆様にご愛読いただけますように内容の検討や周知活動も行っているところです。本研究会へのご理解とご協力大変ありがとうございます。

さて昨今、アクティブラーニングという言葉をよく耳にします。平成26年11月に出された学習指導要領改訂に向けて文部科学大臣から諮問文が発表された中に、「変化の激しい21世紀の社会では、一人一人の可能性をより一層伸ばし、新しい時代を生きる上で必要な資質・能力を確実に育てていくことを目指すこと」が提言され、そのためにアクティブラーニングによる授業改善の必要性が述べられています。

しかし、アクティブラーニングは、全く新しい指導方法ではありません。これまでの知識・技能の習得のみに重きを置く指導法から知識・技能を活用してoutputする場面を充実させる必要があるということです。このことは、英語教育においても以前から重視されていることであり、積極的に授業改善に臨んでいる先生方も多くいらっしゃいます。そのときに念頭に置いてほしいのが、単に活動を増やせば良いということではなく、子供たちの頭でしっかりと考えさせ、表現させることを意識することが肝要だということです。

今回の「交流」において、アクティブラーニングを意識した授業実践や各地区の英語教育に関する取組の報告、全国英語教育研究大会（大分大会）の報告、海外派遣事業に参加した先生方の報告、沖中英研事業としてのストーリーやスピーチの大会結果など多岐にわたる内容を紹介することができました。

「交流」の作成に当たり、各地区教育事務所の主事の皆様、資料を提供して下さいました先生方にお礼と感謝を申し上げます。

このホームページを英語教育に携わる多くの先生方や英語教育に関心のある皆様方に活用いただき、日々の授業実践や授業力向上に役立てていただければ幸いです。

ご意見・ご要望等もお気軽にお寄せください。

沖縄県中学校英語研究会
会 長 宮城 みゆき